

第 10 回マスフェスタ 参加体験記

- ◇ 日 時 平成 30 年 8 月 25 日 (土)
- ◇ 場 所 関西学院大学上ヶ原キャンパス (兵庫県西宮市)
- ◇ 参加者 SS 数学部 2 年生 2 名
- ◇ 指導者 笹島浩平教諭

大手前高校 SSH の取り組みであるマスフェスタ (全国数学生徒研究発表会) は、読んで字のごとく数学の祭典で、今回の第 10 回大会には全国から 52 校 70 組の並々ならぬ数学好きが集った。本校のテーマ「円分多項式にみられる規則性について」は、多項式の法則を見いだし、それを証明しようという研究である。研究成果を 2 枚のポスターにまとめ終えたときには、充実感がこみ上げたが、マスフェスタ当日は、しっかり発表できるかどうか不安に思いながら、会場へ足を運んだ。



まず、7 校の口頭発表があった。円の重心や傍心に関する研究や、席替えで全員が席替え前と違う座席になる確率の研究を聞いて、数学の幅広さや汎用性に大きな感動を受けたし、全国レベルの研究は質の高いものだと感じた。何よりも強く感じたのは、発表者の数学への熱意である。

初めて行ったポスター発表では、来場者にポスターに書いたことの意味をしばしば問われた。研究内容の不備ではなく、ポスターへの表現不足によるものだ。ポスターをもっと詳しくわかりやすく書かなければならなかったと感じた。発表の準備の大切さや、自分がわかったと書いていても本当にわかったとは言えないという気づきは収穫ではあるが、発表の難しさと苦労を身にしみて感じ、私たちの未熟さを認識させられた。



今回のマスフェスタ参加は、多くのことを学べたし、全国に潜む仲間でもありライバルでもある存在を認識できたので、今後の研究に向けて大きな励みになった。全国にいる仲間達のように「数学が好き」という気持ちを忘れずに、残っている研究課題に取り組みたい。